

「ナマハゲ」遺産登録



発行所 秋田魁新報社
〒010-8601
秋田市山王臨海町1番1号
©秋田魁新報社 2018年



雄たけびを上げながら子どもに迫る「男鹿のナマハゲ」=2015年12月31日、男鹿市船川港女川

ユネスコ「来訪神」8県10行事

号外

購読申し込み

0120-13-1231

電子版

www.sakigake.jp

モバイル

m.sakigake.jp



詳しくは「秋田魁新報」朝刊、「秋田魁新報」電子版「さきがけMOBILE」をご覧ください。

モーリシャスで開催中の国連教育科学文化機関(ユネスコ)政府間委員会は29日、「男鹿のナマハゲ」(秋田)や「甕島(トシドン)」(鹿児島)など8県10件の伝統行事で構成する「来訪神 仮面・仮装の神々」を無形文化遺産に登録すると決定した。鬼の姿などをした異形の「神」が家々を毎年回るといふ、なじみ深い行事が世界的な評価を得た。

今後の活動の弾みになることが期待される。男鹿のナマハゲは、大みそかの晩に男鹿半島全域で行われる伝統行事。なまはげに扮した住民らが「泣く子はいねがー」などと叫びながら家々を回り、怠け者を戒める。男鹿市の菅原広二市長は「登録を契機に、なまはげ行事を地域の元気につなげるとともに、文化の魅力を国内外に発信し、インバウンド誘致などさらなる観光振興に努めたい」とコメントした。日本の無形文化遺産登録は、2016年の「山・鉾・屋台行事」(秋田など18府県)以来2年ぶり。